

住まい

日本人が多く住むエリアとその特徴

【サウスデリー】（バサント地区・アナンド地区・ディフェンス地区・GK地区）

3階建て一軒家のワンフロアを賃貸することが多く、最近では家具付きのところも増えてきました。昔からある高級住宅街で緑も比較的多くクラシックな作りの家もあります。

【グルガーオン】（セクター 27 ～ 54 近辺）

新しく開発中で 工事中のエリアがたくさんあります。高層アパートの一室を賃貸することが多く、家具付きのところが多いです。最近では洗濯乾燥機や食洗機備え付けのアパートも出てきており、メイドを雇わない人も増えてきています。大型ショッピングモールが集まっています。

【ノイダ】

一軒家のワンフロアを借りる物件も多数ありますが、高層アパートも続々とできてきています。デリーのような緑が多く整備された住宅街もあり大きなショッピングモールも多数あるため便利に思えますが、デリー、グルガーオンに比べると日本人が少ないためかノイダに会社がある人でもデリー市内に住んでいる人が多いようです。

1. 通勤エリアとして代表的なところ

- ・コンノートプレイス周辺（昔からあるオフィスはこの周辺が多い）
- ・ネループレイス周辺／サケット周辺／グルガーオン（近年インドへ進出している企業のオフィスが多い）
- ・マネサール（工業エリア）

2. 通勤・通学にかかる時間の目安

【コンノートプレイスまで】（車利用）バサントビハールから約 30 分～1 時間

グルガーオンから約 1 時間～1 時間 30 分／ノイダから約 30 ～1 時間

【日本人学校・幼稚園まで】（スクールバス利用）バサントビハールから約 30 ～45 分

グルガーオンから約 30 ～45 分

（車利用）バサントビハールから約 20 ～30 分／グルガーオンから約 30 ～45 分

【マネサールまで】（車利用）コンノートプレイスから 1 時間半～3 時間

バサントビハールから約 30 分～1 時間半／グルガーオンから約 40 分～1 時間半

※マネサールまでは渋滞による時間の差が大きい。

一軒家を選ぶ場合のポイント

1. 安全

- ・居住ブロックにゲートがある方が望ましい。
- ・家の造りなどや隣、裏が空き地でないことを確認。

参考：在インド日本国大使館 『安全の手引き』内 7. 住居における安全対策
http://www.in.emb-japan.go.jp/Japanese/ConsularSection/safety_11_2015.pdf
 （在インド日本国大使館>領事部より>安全情報>安全の手引き）

2. 衛生

- ・近くにゴミ集積所がないこと。
- ・シロアリ・ゴキブリ・ネズミなどに注意。
- ・近くに河川（用水路）がある場合、蚊の発生、異臭がすることもあります。

3. 環境

- ・隣が工事中でないこと。インドの工事は長期間を要しかつ日本のように騒音や汚れなどに対し配慮がありません。昼夜問わず騒音に悩まされることも。
- ・同じ棟に空き部屋があると、蚊が大量発生、ネズミ、ごみ放置、階段などが汚れたままになる可能性があります。
- ・日本人が多く住む地域を選ぶと、治安やいざという時（停電など）助け合える、メイドのシェアもしやすいなどメリットが多いです。
- ・交差点の近く、メインロードに面している場合は騒音・排ガスがあります。
- ・地域の集会場および学校の近くは渋滞、安全を考え避けた方がいいでしょう。

4. 部屋数

- ・ストックルーム、冷凍庫置き場として 1 部屋あった方がいいでしょう。

5. 先住者

- ・以前外国人が住んでいた家は比較的トラブルが少なく、既に電気の容量なども十分であることが多く、さらに大使館員が住んでいた家はインフラのチェックが厳しくされていることが多いので安心です。

6. 電気・水・ギザ（給湯器）

- ・最低 20kw は欲しい（エアコン 1 基につき 4kw 必要。3 基同時に使えるくらいの容量を確保しましょう）。無理をすると配電盤の火災などを起こすことがあります。
- ・大容量電源コンセントは、冷蔵庫・冷凍庫の数を考慮。
- ・備え付けの電化製品がすべて稼働するか確認。
- ・地下、屋上タンクの状況（亀裂、錆、汚れ）および貯水量のチェック。
- ・地下タンクから屋上に汲み上げるポンプは正常に作動するか確認。
- ・フラット、または大家と一緒に住んでいる場合、屋上タンクは各階ごとにあるか確認が必要。
- ・ギザ（給湯器）の容量が十分で、正常に作動しているかチェック（バスタブに溜めるには 50L、シャワーなら 35L は欲しい）。
- ・ギザは交換できるので交渉時に必要なギザを取り付けてもらうことも可能です。
- ・ギザが大きければ電気代もかかるので生活スタイルによって選ぶといいでしょう。

7. 車庫

- ・車庫でなくともゲート内に駐車スペースが必要。
- ・フラット、または大家と一緒に住んでいる場合、自分専用のスペースが確保できるか確認。（駐車スペースはあっても植木、子どものおもちゃなど、他住人の私物で駐車できない場合があるので注意）

8. その他

- ・サーバントクォーターは住み込みの家事補助者を雇う場合はあった方がいいでしょう。
- ・門番のトイレはあった方がいいでしょう（ゲートから離れる時間が少なくなるため）。
- ・門番小屋については、オーナーが用意する場合と個人で用意する場合があります。個人の場合、電気代は自分持ちになります。
- ・雨漏り、戸、窓のたてつけを確認（補修がきかないものもあります）。
- ・日当たりの方向や十分な大きさのひさしがあるか確認（強い日差しが当たるところに日よけがないと夏は部屋の温度が上がります）。
- ・屋上がある場合は掃除できるように水道が通っているか、ちゃんと水が下に流れるか排水管を確かめましょう。
- ・ベランダの排水口から水が排水されるか確認（掃除をしておかないと雨季に室内に水が入ることもあります）。
- ・フラットで地下が事務所などになっている場合、人の出入りが多いので安全面の注意が必要。

- ・一戸建てやグランドフロアの場合、庭の水はけが悪いと家の中に水が入ってくることもあるので事前に確認が必要です。

高層アパートを選ぶ場合のポイント

1. 安全

- ・セキュリティがしっかりしていること（メインゲート、エントランスできちんとセキュリティチェックされているか）。

2. 環境

- ・マンション内に食料雑貨店があると便利です。
- ・子どもが遊べる施設やジム、スポーツ施設が敷地内にあり使えると便利です。
- ・ペットを散歩させる場合、場所があるかどうか。芝生があってもペット不可のところも多いです。
- ・部屋の向きはどうか。インドでは北側の部屋が夏涼しいので人気ですが、部屋は暗めになり冬は寒いです。
- ・強い日差しが差し込むところに十分なひさしがあるか。朝日、西日も侮れません。
- ・近隣の騒音はどうか（特に夜間）。

3. 部屋数

ストックルーム、洗濯物干場、冷凍庫置き場として 1 部屋あった方がいいでしょう。

4. 設備

- ・新築でもトラブルが多いので注意。
- ・グランドフロアは害虫が多いので選ばないほうがいいでしょう。
- ・サーバントクォーターの出入り口はどこにあるか。玄関とは別で独立している方が気になりません。物件によっては全くの別棟にあるものもあります。緊急時、留守時はすぐ近くにあるほうが何かと助かります。
- ・窓の鍵がかかるかどうか。

5. 電気・水・ギザ（給湯器）

- ・電気のパワーバックアップは大丈夫か。高層アパートには発電機があり復旧が早いですが、中には発電能力が不十分な物件もあります。外国人、日本人が多い住宅を選ぶのが無難。

- ・外国人の少ない物件だと電気の容量が少ない場合があります。エアコンや冷凍庫の分は確保したいです。
- ・コンセントには大容量 (15A) と一般 (5A) があり、エアコン、ヒーター、冷蔵庫、ギザは大型のものが多く必要であることが多いです。それぞれの個数が十分あるか確認しましょう。
- ・備え付けの電化製品 (エアコンやギザ) がすべて稼働するかどうか。
- ・ギザの容量は十分か (バスタブには 50L、シャワーには 35L は欲しい)。

6. その他

- ・家賃の外国人向け価格はインド人向けの価格よりも多少高くなりますが、周りの相場をよく調べて十分な交渉をしてから決めるといいでしょう。
- ・入居者が少ないと共用スペースの電気代を少人数でシェアするため、電気代が高くなる場合があります。

家主との交渉および契約

1. 家賃前払いの期間

月払いが理想ですが 1カ月～1年分の家賃を前払いするケースもあり、オーナー、業者によりさまざまです (要交渉)。家賃は経済状況により変動するため、その時の相場をよく調べることをおすすめします。

2. 敷金

基本は家賃の2～3カ月分。オーナー、業者によりさまざまです (要交渉)。またエージェントを通して契約をすると、敷金とは別に仲介手数料がかかる場合があります。

3. 賃貸期間

契約期間は2年が一般的です。11カ月を超える契約には裁判所登録が必要となり、家賃に応じた実費が必要で一般的には大家と折半する事が多いです。これを避けるため「11カ月×2回」の契約書を作るケースもありますが、裁判所登録をしておいたほうが裁判沙汰になった時のためにはいいでしょう。これに対し最低契約期間 (ロックインピリオド) という双方が契約を一方的に解除できない期間があります。一般的に11カ月や1年とすることが多いですが、短期で借りられるサービスアパートメントではこれがないこともあります。

4. 契約書

契約書を作成して、トラブルを少なくしましょう (家具付きの場合は種類、傷などのチェック、写真撮影、使用条件の確認)。

契約書には特に、ドライブウェイ、車庫、サーバントクォーターなどのどの部分を借り受けたのか明記。入居後の補修費の受け持ちなども交渉し、契約書になるべく細かく条件を明記するのが望ましいでしょう。

5. 弁護士への相談

契約時の立会いやトラブル時の必要に応じて依頼しましょう。

ライフライン (電気・水・ガス)

インドでは電気・水・ガスなどのインフラ整備が概して不十分なため、残念ながらたびたび問題が起こるのが現状です。日常生活に直接影響するので、日ごろからできるだけ注意しておき、問題が起きたらどこに連絡すればよいか確認しておくことが大切です。対処に困ったら会社の現地スタッフや経験豊かな知人に相談するのもいいでしょう。

1. 電気

電圧は 220～240V、周波数 50Hz、コンセントの形状は 3ピン丸型または 2ピン丸型。日本製品を使用する場合はアダプタープラグや変圧器 (トランスフォーマー) が必要。インド製の電気ソケットは漏電しやすいため、必ず電源スイッチを切ってからコンセントの抜き差しをすること。濡れた手で触るのは危険です。

<一軒家の場合>

停電時のバックアップ機能を備えたフラットもありますが、多くの日本人は自家発電装置 (ジェネレーター) を設置しています。長期の旅行の際には、ジェネレーターの燃料が十分か確認しておきましょう。

<高層アパートの場合>

だいたいの高層アパートには、ジェネレーターが設置されています。

※新築中古問わず突然ブレーカーが落ちることがあります。一時帰国など長期留守の場合、門番やメイドに毎日チェックしてもらうなどの対応もしておく安心。

・変換プラグや延長コードについて

インドは B3、BF、B、C タイプのプラグが主流。

日本製の延長コードは 100V 用に作られており、変圧器（ダウントランスフォーマー）を介さない場合、壊れたり、漏電するため、変換プラグに直接繋がないように注意。

・変圧器 (transformer)

インドの電圧は 220-240V のため、日本の電化製品（100V）を使用する場合は、ダウントランスフォーマー（電圧をさげる変圧器）が必要です。

使用したい電化製品に応じた容量（消費電力、W 数）の変圧器を日本から購入する必要があります。

使用中は消費電力の変動があるため、製品に記載されている W（ワット）数よりも 1.25 ～ 3 倍の余裕をもった変圧器の購入をおすすめします。

製品によって異なるため、購入時に販売会社の方と相談してください。

・スタビライザー (stabilizer(米)、stabiliser(英))

特に停電後は電圧が 240V を超えることがあり、冷蔵庫やパソコンなどを使用する際にスタビライザーを通してから使用すると安心です。（冷蔵庫に機能として備わっていることもある）

・UPS (Uninterruptible power supply: 無停電電源装置)

内部にバッテリーを持ち、停電や断線といった突然の電源トラブルに対応するための機器。TV やパソコン、Wi-Fi ルーターなどに使用すると、停電しても UPS のバッテリー容量にあわせて利用することができます。

・停電時の照明 (Automatic Emergency Lantern)

内部にバッテリーを持つ停電時用のライトも当地で購入することができます。停電を感知すると（電力供給が途絶えると）ライトがつくように設定できます。

2. 水

＜一軒家の場合＞

居住場所によっては湯水することがありますが、必要に応じて給水車を頼むことができます。政府機関は対応が遅いが割安です。

Delhi Jal Board

<http://www.delhijalboard.nic.in/>

TEL : (011) 26193244 FAX : (011) 23516261 E-mail : prodjb306@gmail.com

●デリーの給水システム

水道水は朝と夕方しか供給されません。地下タンクに貯水した水をポンプで屋上へ上げるシステムとなっています。家の水タンクの定期清掃は年に 1 回～ 3 回。契約時に確認すること。その際は断水になります。デリーのほとんどの家には、2 種類の水が供給されます（地域によっては上水道のみで両用）。

(1) 上水道は浄水処理されていますが、配水管の状態が良くないところもあるので、飲用するには煮沸、ろ過が必要。

(2) Garden Water 庭用の水。ヤムナー川から直接、または井戸からで無処理。飲料水に関しては「衛生・安全」の章を参照してください。

＜高層アパートの場合＞

水は安定して使用することができます。水タンクの定期清掃が入る時は断水します。

3. ガス

＜一軒家の場合＞

場所によっては都市ガスが使用できます。メーターが家の中にある場合と外にある場合があり、どちらも係員が検針した後、請求書が送られてきます。検針は不定期。プロパンガスを使用する場合は、前任者からプロパンガスのシリンダー（容器）権を引き継ぐのが確実です。新しくシリンダー権を取得するには外国人登録証（RC=Residential Certificate）が必要になります。

- ・住宅街を管理している自治会などに必要書類を聞いて提出。
- ・パスポートとビザのコピー、住所を確認する書類（水道、電話などの領収書）やデポジット（5,000 ルピー）が必要な場合があります。デポジットは解約時に戻ります。
- ・英語が通じない場合もあるのでオーナーなどインド人にお問い合わせするとスムーズです。
- ・シリンダーの相場 約 600 ルピー（2015 年 8 月現在）。
- ・購入時に重さを確認すること。ガスを抜かれて販売されたトラブルもあります。
- ・シリンダーの販売システムやルールは変更が多いので、同じように購入している人からアドバイスをもらうといいでしょう。

＜高層アパートの場合＞

- ・新しい高層アパートは都市ガスが利用できることが多く、古い高層アパートでも、都市ガスを導入しているところが増えてきています。
- ・ガスシリンダー権の取得または都市ガス開通手続きは、各アパートの管理組合（コンドミニウムオフィス）にお問い合わせしてください。

※電気・水道の料金請求額が時として不当に高い場合もあります。さまざまな理由がありますが会社の現地スタッフなどと関係機関に出向くとスムーズです。

※領収書は後のトラブルをさけるため必ず保管しておきましょう。

入居前チェックリスト

インドでは、入居前の補修工事、ペンキ塗りなどに思いのほか日数を要するので、余裕を見ておく必要があります。工事が完了しないうちに入居することになったり、入居後に欠陥が見つかって新たな工事が必要になったりすると、作業上非効率なうえ生活上の不便も大きくなります。家主に補修を依頼した場合でも入居前に何度も足を運び、約束通りに工事が行われたか、各備品は正常に作動するかなどを自分の目で確かめる必要があります。

- 各部屋の内装チェック** 床磨き、天井、壁（内外）のペンキ塗り
- 備え付機器・備品の作動確認**
天井ファン、電灯、水洗トイレ、水道口、コンセント、ギザなど
- 害虫駆除** 蚊、白アリ、ゴキブリ、ネズミ対策
- 入口扉の鍵の取り替え** 必要に応じて
- 漏電チェック** 配線が老朽化している時もある
- 雨漏りの補修** 要交渉
- 地下・屋上給水タンクの清浄** 要交渉
- 格子・フェンスの設置** 要交渉
防犯のため、必要に応じて門番を雇用（一軒家の場合）
- エアコンの設置** 要交渉 レンタル有り
- 塀・外灯・ベランダ・ひさし** 必要に応じて
- 電気メーターの確認**
各家庭のメーターが 区別されているかチェック 入居時、電気使用前のメーターの数値を家主と共に確認・記録
- ガスシリンダー手配・都市ガス開通手続き**
- 電話設置**

赴任後の手続き

【在インド日本国大使館 領事部に在留届を提出】

外国に住所または居所を定めて3カ月以上滞在する日本人は、在留届を提出するように義務づけられています。

詳しくは「パスポート（旅券）／ビザ（査証）」の章の「在留届」を参照してください。

【日本人会に住所・電話番号を連絡】

デリー日本人会入会については「デリー日本人会／さくら会」の章を参照してください。

家賃相場について

家賃の日本人向け価格はインドの一般的な相場よりも高くなる傾向があります。同じマンションや部屋でもオーナーによって手の入れ方から金額までそれぞれ違うため物件は数多く見ましょう。ここにあるアンケート結果や例を参考に、周りの相場をよく調べて十分な交渉をしてから契約してください。またマンションではメンテナンス料金が家賃込みか別途支払いかも契約前に確認しておきましょう。

- ・一軒家1フロア以上借りている（家具付き）……該当者なし
- ・一軒家1フロア以上借りている（家具無し）……該当者なし
- ・一軒家1フロア借りている（家具付き）……4万5千～15万ルピー（回答数7件）
- ・一軒家1フロア借りている（家具無し）……3万9千～30万ルピー（回答数10件）
- ・高層アパート1室（家具付き）……5万5千～14万ルピー（回答数9件）
- ・高層アパート1室（家具無し）……10万～12万ルピー（回答数2件）
- ・高層アパートの1室をサービスアパートとして借りている
（家具、掃除などサービス付き）……17万ルピー（回答数1件）

（2015年8月アンケート結果より）

●一般的な家賃相場の例（2015年8月現在）

<サウスデリー>

バサントビハール 家具無し・サービス無し 3BHK 18～24万ルピー
ディフェンス 家具無し・サービス無し 3BHK 16～20万ルピー
アナンド 家具無し・サービス無し 3BHK 12～18万ルピー

※家具を別途リースで手配し好みのものを揃える方法もあります。

※家具付きにすると上記プラス約3万ルピーほどになります。

<グルガーオン>

ゴルフコースロード周辺の高層マンション 3BHK
家具付き・サービス無し 6～11万ルピー
家具付き・サービス付き 9～16万ルピー
ゴルフコースロード周辺の高層マンション 4BHK
家具付き サービス無し 13～17万ルピー
家具付き サービス付き 15～20万ルピー

<その他の例>

デリー バサントに住む

Aさん家族 4BHK 家具無し 28 万ルピー

Bさん夫婦 3BHK 家具無し 5 万 5 千ルピー

単身のCさん 1BHK 家具付き 4 万 5 千ルピー

インターン生のDさん ワンルーム 家具付き 6 万ルピー

Malviya Nagar に住む Eさん 2BHK 家具無し 3 万ルピー

グルガーオンに住む

MGロード沿いマンションに住む単身のFさん 3BHK 家具無し 5 万ルピー

デリー近郊内の引っ越しについて

【前日までにすること】

- ・引っ越し費用の見積。
- ・日程は余裕をもって設定。 ※引っ越しが 1 日で終わらない場合もあります。
- ・貴重品および割れ物の管理。
- ・旧居の管理組合やコミュニティからシフティングチャージを請求されることがありますので確認しておきましょう。

【引っ越し当日】

- ・一度ですべての荷物を運びきれない場合があるので、旧居と新居にひとりずつ待機する方がいいでしょう。旧居では最後まで見届ける必要があり、新居では運び込まれた荷物の配置などの指示が必要です。
- ・新居は荷物の運び込みや引っ越し業者の行き来で部屋が汚れます。新居には掃除専用の人を雇うかメイドなどを待機させるのがいいでしょう。

不要品の処分

- ・ガレージセールを開く（対象者は、日本人、インド人、在印外国人など必要に応じて選択）。
- ・カバリ（廃品回収業者）に手数料を支払って新聞に広告を出してもらい、インド人向けのオークションを開く。それで残ったものはカバリに引き取ってもらうとよい。

1. カバリ（廃品回収業者）

Diplomate Services

Anand Singh

住所：C16, 2F, C-block market,

Vasant Vihar, New Delhi

TEL：09810281363 / 09910304755

不要品を買い取ってくれます。売値を聞いてくれるので、希望価格を考えておきましょう（高めの値段から交渉するとよい）。

Certified Public Auctioneer

Munish Pahwa

・デリー

住所：C-2/2072, Vasant Kunj, New Delhi

TEL：09810258658

・グルガーオン

住所：273, Sector 31 Gurgaon

TEL：09810258658, 09810222422

E-mail：pahwamunish@yahoo.co.jp

不要品を買い取ってくれます。また、インド人向けのオークション開催を手伝ってくれます。

Sale Organiser Consultant

Ashok

住所：E-13, Anand Niketan, New Delhi

TEL：(011) 23360196, 09810778829

E-mail：ashoksoodstc1963@yahoo.co.in

Manjeet Singh

住所：B-46 A, Lajpat nagar2 ,New Delhi

TEL：09811674695

カバリ利用の手引

【オークションを行う場合】

出品するものが決まったら業者に見てもらい、日程を決めます。集合住宅では数日前に管理組合に許可をとっておきましょう。

・オークション当日

出品しない私物などはできる限り他の部屋などへ移動させましょう。なるべく複数人で対応がベター。現金がその場でやり取りされるのでお釣りの紙幣を準備しておきましょう。

【オークションは行わず、不要品を引き取ってもらう場合】

業者にその場で不要品を買ってもらいたい旨を伝え自宅へ来てもらい、価格交渉します。

※古新聞・古雑誌・缶・ビンは地域を自転車で回っているカバリを利用するといいでしょう。

帰国が決まったら

速やかに帰国準備に入ります。身辺整理をして、帰国後の住所を確保し、新生活の設計をたてます。荷物は、船便、航空便、携帯荷物になりますが、船便の場合、到着までには時間がかかるので、すぐ使う荷物は航空便か携帯荷物に分けておくといいでしょう。

帰国チェックリスト

渡航

- 航空券の予約
- ホテルの手配
 - 帰国前：インドのホテル
 - 帰国後：日本のホテル

職場

- 業務の引継ぎ
- 諸手続き
- 帰国挨拶状の発送
- 送別会の日程調整

住居・生活

- 外国人登録の抹消
- 現地銀行の整理
- 邦貨への換金
- 帰国後の住居手配
- 貸家の解約
- 管理組合、コミュニティへの退去届提出
- 使用人の解雇→次の勤め先を斡旋
- 電気・水道・ガス・電話の解約
- 新聞・ケーブルTV
 - インターネットなど各種解約
- 日本人会やさくら会他、各種退会届提出
- 帰国挨拶状の作成
- 送別会
- おみやげ購入
- 「在留届の解除」を日本国大使館へ提出

ペット

- ペットの検疫
- 必要書類の確認
- ペットの飛行機予約

引越し

- 業者の手配
- 業者の下見と見積もり
- シフティングチャージの確認
- 荷物の仕分け
- 不要品の売却
- 不要品の譲渡
- レンタル家具の解約
- 帰国便で持ち帰る荷物の準備
- 帰国後の新居の準備
- トランクルーム 解約し、預けている荷物の配送手配

子どもの学校

- 転校手続き
- 必要書類の確認
- 帰国後の学校に関する問い合わせ
- 必要書類の取り寄せ
- スクールバス利用止め手続き
- 送別会

出発当日

- パスポート・航空券の確認
- ホテルの清算
- 空港までの車の手配
- 到着空港での交通機関手配
- 挨拶
- 外国人登録証を出国審査で返却

引越業者

Japan Express

住所：34/1-7, Kherki Daula, 42 Milestone, NH-8, Gurgaon
 TEL：(0124) 2626000
 FAX：(0124) 2626261
 営業：9：30～18：00 月～土

Nippon Express (日通)

住所：Plot No.442, udyog vihar phase III, Gurgaon
 TEL：(0124) 4994200
 営業：9：30～18：00
 月～土・第2土曜休

Yamato Logistics (ヤマト運輸)

住所：Room212, 214, 216, 218, 2F, Galleria tower, DLF phase IV, Gurgaon
 TEL：(0124) 4010048

Crown Line

http://in.crownline.jp/
 住所：Plot No.61, Sector 18, Gurgaon
 TEL：(0124) 4551431
 FAX：(0124) 4102434

Packways

http://www.packwaysrelocations.com/
 住所：B 275, Okhla Industrial Area, Phase I, New Delhi
 TEL：(011) 46277600, 601, 26813142, 3144
 営業：9：00～17：00 月～土